

## 带状疱疹 (Herpes zoster)

丸山 清, 長内 剛

松本歯科大学 歯科放射線学講座 (主任 丸山 清 教授)

带状疱疹は非伝染性皮膚疾患のうちの水痘症の部類に入る。水痘をおこすウイルスの varicella zoster virus (VZV) による。人以外の動物には感染しない。1969年以降水痘带状疱疹ウイルスと呼称されている。Hodgkin 氏病や白血病に高率に認められる。好発部位は、II~IV頸椎や gasser 神経節等である。

発生は一般に加齢とともに増加するが20才と60才で特に増加する2峰性を示すとも報告されてい

る。性別では女性に多いとも男性に多いとも報告されているが一定しないが、著者の経験では女性にかなり多いように思われる。(これは乳癌や子宮癌等の女性に特有な患者を多く診ているためとも思われる。)

带状疱疹の潜伏期は一定していない。普通は3~4日の神経痛ののち、領域皮膚に小水疱、膿疱、壊疽性潰瘍を簇集性に発生し、助間神経や三叉神経第一枝に多く起こり、約3週間で治癒する。この症例は電撃的に一晩で図1のごとく三叉神経第



図 1



図 2

一枝と第2枝に壊疽性水疱が発生し更に数日後には図2のごとく瘢痕性となって治療した珍しい症例であり、当然に膝神経節が侵されて発生したものと云える。尚この患者は、Waldyer ring より発生した悪性リンパ腫の症例であり、放射線治療 tele Co 60 を上咽頭を中心に5500 rad=55Gy 照射し、予後良好で経過を観察していたものである。又、瘢痕治癒後も神経痛様の疼痛を訴えていた。が、一般に膝神経節が侵されるとおこる、外耳道や耳介に皮疹を生じ且全眼球炎や顔面神経麻痺等を伴なう所謂 Ramsay-Hunt 症候群の症状は全く認められなかった。又この例のような瘢痕性に治癒するものを壊疽性帯状疱疹, herpes zoster gangraenosa (gangraenosus) と呼称している。

最近帯状疱疹と悪性腫瘍との関連が問題になってきたが、Dayan らは細網症では4~13%の高率であると記し、Gremmel らの良性疾患0.22%に対し、悪性腫瘍では0.85%とし、又 Gremmel らの報告に見られるように放射線治療が帯状疱疹の発生に関係あるのか否かについては、線量と頻度などすべて統一した見解になっていないが、悪性腫瘍と帯状疱疹との関係は比較的重要視されている。然しながら放射線治療により、放射野内に脊髄神経が含まれていてそのための活性化したことも考えられる。この症例は直接照射野に膝神経節が含

まれていないが、或る程度の線量が照射されていることは考えられる。

最近治療した悪性腫瘍患者では上述の数値より可成り高率に帯状疱疹が発生していることは事実である。

## 文 献

- 小林敏雄, 清野邦弘, 坂本良雄, 藤森仁行, 横山健, 佐藤佐一, 渡辺俊一, 大畑武夫, 丸山雄造 (1967) 悪性腫瘍の放射線治療と帯状包癌疹の臨床, 13: 714~718.
- Gremmel, H., Schulte-Brinkmann, W. (1966) Besteht ein Kausal zusammenhang zwischen Strahlen therapie and Herpes zoster Strahlen Therapie, 180: 52~72.
- Dayan, A. D., Morgan, H. D., Hope-stone, H. F. and Bouchers, B. J. (1964) Disseminated Herpes Zoster in the Reticulosis Am. J. Roentgenol., Rad. Therapy & Nuclear Med. 22: 116~123.
- 菊地俊太郎, 保坂六吉 (1962) 照射治療中に変生した帯状疱疹の3例について. 日本医放会誌, 21: 368~369
- 佐々田健四郎 (1983) 現代皮膚科学大系 6 B, 88~の7. 中山書店, 東京.
- 北村包彦, 川村太郎 (1962) 小皮層科学, 金原出版, 東京.
- 阿部裕, 和田達雄編 (1987) 診新治療マニュアル, 1478~1479. 金原出版, 東京.